

Wel^{ウェル}なかがわ

WellはWelfare(ウェルフェア)=幸福、福祉という意味の英語からとりました。

編集・発行 社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

第52号

発行 / 2013.6

『向こう三軒両隣り、困ったときはお互いさま』

集合住宅における住民同士の助けあい・支えあい活動が始まっています。

「あはははは」大きな笑い声が、集会所の外まで聞こえてきます。

平成25年4月18日、4月なのにとても暖かい陽気の中、『たかはた荘元気クラブサロン』の第1回が開催されました。市営たかはた荘にお住いの約30人の方と、自治会役員さんやサロン運営ボランティアさんが一堂に会し、ボランティアグループ「中川マジック」の手に笑顔が絶えませんでした。「顔をつきあわせることができるという場が続くと良いね。また来月会いましょうね。」とうれしい言葉もありました。

たかはた荘元気クラブサロンには、高齢の方から外国の方まで参加されていました。



また、3月の「助光荘ささえあいのつどい」に引き続き、平成25年4月25日、市営助光荘集会所で『語ろう助光交流会』が開催され、これから自分たちでできる、助けあい・支えあいの活動を話し合いました。「ふれあいいいきサロンは、楽しい場だけではなく、情報交換・情報共有の場としても必要だと思う」などいろいろな意見を語り合い、『始めの一步』を踏み出しました。

◀「住民ふくし調査」の結果から、助光荘の良いところ、課題などを話し合う参加者。

2つの市営住宅では、私たち中川区社会福祉協議会で実施している『大規模団地等における孤立防止推進事業』の一環で『住民ふくし調査』を実施し、その調査の結果どんな活動が必要か、そしてどんな活動が自分たちでできるかを、住民の皆さん自身が考えました。

集合住宅での孤立が大きな問題となっている現在、一人ひとりの一步は小さく見えるかもしれませんが、『向こう三軒両隣り、困ったときはお互いさま』の気持ちで、大きな活動が始まりました。

「第2次地域福祉活動計画」 基本計画8 地域福祉推進協議会の活性化

今号の内容



地域福祉活動計画ニュース	1~2	いきいき支援センターからのお知らせ	5
「地域の底力を応援」助成事業のご案内	3	賛助会員募集	5
サマーボランティアスクール参加者募集	3	家具転倒防止耐震留具取付事業のご案内	6
はつらつサポーター養成講座参加者募集	3	寄付のお礼	6
25年度事業計画・収支予算	4		

地域福祉活動 計画ニュース

第3次地域福祉活動計画の策定が始まりました!

中川区の福祉を進めるために、平成21年度から取り組んでいる「第2次地域福祉活動計画」も、今年で最終年度の5年目です。最後まで取り組みを進めますが、同時に今年度は平成26年度から取り組む「**第3次地域福祉活動計画**」の策定を始めます。

今まで関わっていただいた計画推進委員さんに加え、新たに応募していただいた委員さんたちと一緒に（Welなかがわ前回号で募集）、中川区が誰にとっても住みよいまちになるように、ニーズ調査をしたり、地域の方からアイデアをいただきながら、新たな取り組みを検討していきたいと思えます。

今まで色々な取り組みを地域住民の方達と行っていることはご紹介しましたが、今年度は、併せて会議の進行状況もご報告します。

5月～作業部会(6回程度の会議と調査活動など)

3つのワーキンググループに分かれ、どのような取り組みをしたら、中川区が住みよいまちになるか調査・検討します。ワーキンググループのテーマは、「地域のつながりづくり」「地域の応援団づくり」「地域の社会資源・環境づくり」です。

6月～策定委員会(3回程度)

計画策定の決定機関。本会の理事と作業部会委員などで構成。計画策定の進捗状況や内容を吟味する役割。



▲「中川区、こんなまちになったら良いな～夢を語ろう～」というテーマで意見を申し合いました。



基本計画2 福祉施設などを活用したたまり場づくり 基本計画9 ボランティアの活性化

なかがわ ボランティア&福祉施設交流会を開催しました!

昨年度、参加者より好評をいただいた「ボランティア&福祉施設交流会」を3月26日の午後、中川区役所講堂で開催しました。今回は、福祉施設職員、サロン実践者、ボランティアの方々44名に集まっていただきました。

地域の社会資源である福祉施設と住民の方の連携を目指し実施している交流会も今年で2回目。前回参加者からは、「色々な分野の方の意見を聞くことができ参考になった。」「是非また参加したい。」「などのご意見をいただいた一方で「もっと交流する時間が欲しい。」「異業種間での交流もいいが、同業種での話し合いの場もつくって!」などの声も聞きました。

そこで皆さんの希望をなんとか全部叶えられないかと考えたものが、その名も『**中川版ワールドカフェ方式**』。お茶とお菓子を用意し、ゆったりとした雰囲気の中で、情報交換などの交流をメインに同業種同士はもちろん、様々な方と（やる気があれば参加者全員と）出会い、交流できるようにしました。6つのテーブルを自由に移動してグループ交流を4回行い、それでももの足りない方のために最後はフリータイムを設け、満足ゆくまで交流してもらいました。



▲お茶とお菓子を持ってテーブルへ

様々な情報交換の中で、今回も数多くの『つながり』をコーディネートできたようです。施設でのイベントにボランティアを呼んだり、逆に施設の利用者が演奏披露で子育てサロンへ出向いたり。こちらが思いもなかった出会いも生まれ、皆さんが地域に求めている様々な『つながり』が形となって、とてもうれしく感じました。

このような『つながり』を、つくりたい! 見つけたい! という方は是非ご相談ください。これからももっともっと『つながり』が生まれるような交流の場を考えて行きたいと思えます。



▲立ち話でも盛り上がり...

中川区「地域の底力を応援」助成事業のご案内

住民の方が取り組んでいる福祉活動やボランティア活動に対し、地域の皆さんからいただいた共同募金や賛助会費を財源に助成をする事業です。

助成対象 中川区内で、6ヶ月以上福祉活動に取り組んでいるNPO法人、ボランティアグループ、サロンなど（本会から他の助成を受けている、または受ける予定の団体は除きます）

助成種類 ①はばたき助成（先駆的・広域的事業助成）……………1団体（1事業）あたり 100,000円（上限）
②ささえあい助成（住民参加型福祉活動助成） ……1団体 20,000円（上限）

申請方法 **7月10日(水)までに**、所定の様式に必要事項をご記入のうえ添付書類を付けて、中川区社会福祉協議会へお申し込みください。
事業案内や申請書は、社会福祉協議会や区役所等の公所にあります。
また、本会ホームページからダウンロードできます。
詳細は、そちらをご覧ください。

審査方法 書類・公開プレゼンテーションによる審査
平成25年7月29日(月) 13:30～ 中川区在宅サービスセンター

※①はばたき助成申請団体は、必ずご出席ください。
※②ささえあい助成申請団体は、義務ではありませんが、審査員へのアピールタイムが設けられますので、ぜひご出席ください。



▲多くの方にご参加いただき、申請団体にはプレゼンテーションをしてもらいました。（昨年度は39団体助成）

サマーボランティアスクール参加者募集

学生の皆さん! 夏休みを利用して、社会福祉施設でボランティア活動の体験をしてみませんか?

活動先 区内社会福祉施設（特別養護老人ホームなどの高齢者施設・作業所などの障がい児者施設・保育園などの児童福祉施設）

活動期間 7月22日(月)～8月16日(金)の4週間のうち、原則として同一週の5日間。

参加対象 中川区内在住または在学の中学生・高校生

連続5日間の活動が可能で、事前研修会(7/19(金))・事後研修会(8/20(火))に必ず参加できる方

参加費 無料（ただし、ボランティア保険料250円と交通費・昼食代は各自負担。また、児童福祉施設などで活動する場合は、検便代150円が必要です）。

申込方法 **6月21日(金)までに**、参加募集チラシ添付の所定の参加申込書でお申し込みください。
募集チラシは、各学校や社会福祉協議会、区役所などの公所にあります。



平成25年度 はつらつサポーター養成講座 参加者募集!

～「はつらつ」の緑の下の力持ち! ご自分を活かして活動しませんか?～



高齢者はつらつ長寿推進事業の会場運営やプログラム準備、参加者の地域活動・自主活動支援などを社会福祉協議会と協働して行うボランティアです。
ご自分のやりたいこと、得意なことを活かして、「はつらつ」を盛り上げていきませんか?

■開催期間 **7月1日(月)～7月8日(月) 全3回**

日 時	会 場	内 容
① 7月1日(月) 13:30～15:30	■高齢者はつらつ長寿推進事業 概要説明 ■高齢者の理解 ■ボランティアの心得 など	在宅サービスセンター
② 7月2日(火)～7月5日(金)	■会場見学、体験実習（1人1会場）	各はつらつ会場
③ 7月8日(月) 13:30～15:30	■プログラム体験、事例検討など ■交流会	在宅サービスセンター

参加対象 受講後、はつらつサポーターとしてボランティア活動ができる方。

定 員 20人程度

問合せ・申込 中川区社会福祉協議会

**6月24日(月)までに
お申し込みください。**

中川区社会福祉協議会 平成25年度事業計画

●は賛助会費を財源とした事業です。★は共同募金配分金を財源とした事業です。

①地域福祉推進事業

- ★地域福祉推進協議会活動への助成・支援
- サロン実践者交流会の開催
- ★公開プレゼンテーションによる地域福祉活動への助成
- 大規模団地等における孤立防止推進事業の実施

②ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営
(ボランティアに関する相談、ボランティア活動保険の受付等)
- サマーボランティアスクールの開催
- ★初級手話講座の開催
- 学校等における福祉教育への支援
- 災害ボランティアグループ活動への支援

③高齢者福祉事業

- 名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業の実施
【名古屋市委託事業】
- ★ふれあい給食サービス事業への助成・支援
- ★ひとり暮らし高齢者等に対する寝具洗濯
乾燥サービス事業の実施
- 耐震留具取付サービス事業の実施
- 学区敬老行事への助成
- ★老人クラブ実施事業への助成

④障がい者福祉事業

- ★中川区福祉ふれあい広場の開催
- ★障がい者(児)関係団体実施事業への助成
- 障害者地域自立支援協議会への参画

⑤児童福祉事業

- ★子ども会、保育所、留守家庭児童育成会等実施事業への助成
- 子育てサロン・サークル活動への支援
- 子育て支援ネットワーク連絡会への参画

⑥低所得者福祉事業

- 生活福祉資金の貸付【愛知県社協委託事業】

⑦福祉団体への助成事業

- ★民生委員児童委員協議会始め福祉関係団体等実施事業への助成

⑧中川区在宅サービスセンターの運営

- 研修室・ボランティアルームの貸出
- ボランティアルームのコピー機貸出
- 車いす対応車の貸出
- 車いす・福祉用具等の貸出

⑨広報啓発事業

- ★広報誌「Welなかがわ」の発行(年4回)
- ホームページ・ブログ「なかがわ和輪話(わわわ)」の運営
- 福祉講演会の開催

⑩第2次地域福祉活動計画

- 「なかがわ福祉まごころプラン2」の実施

⑪第3次地域福祉活動計画策定

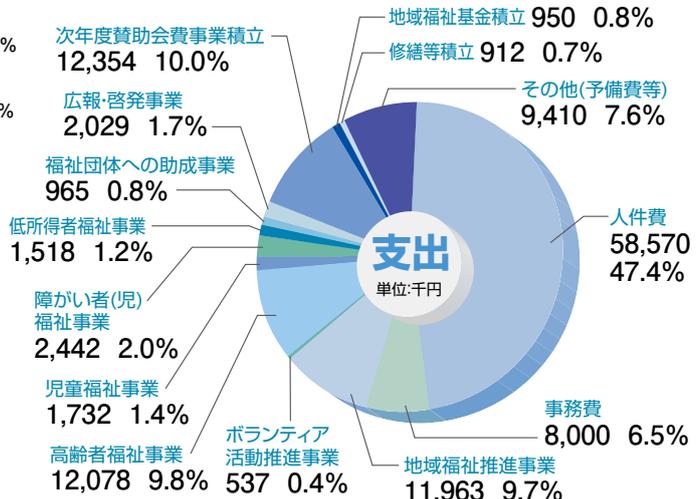
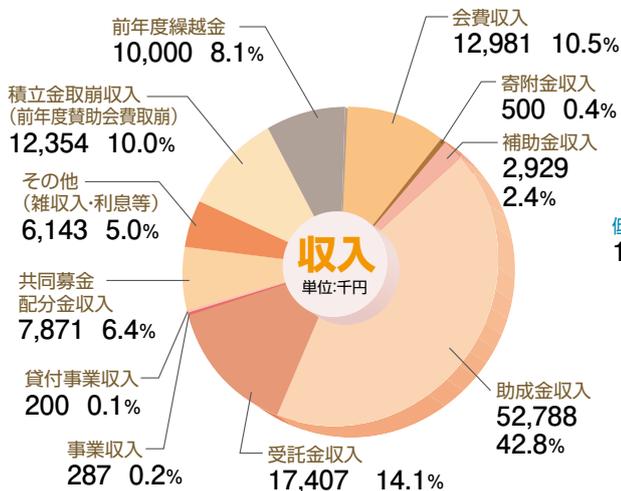
- 第3次地域福祉活動計画の策定【新規】

⑫その他の取り組み

- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力
- 中川区西部いきいき支援センター・
中川区介護保険事業所への運営協力

平成25年度 収支予算

総合計 ￥123,460,000円



いきいき支援センターからの お知らせ

平成25年4月より名古屋市全域で“見守り支援”開始

核家族化が進む中で、高齢の一人暮らしやご夫婦暮らしの方等が増えてきています。そして、これに比例するように、不幸にもご自宅でお一人でなくなる孤立死が増えており社会問題化してきています。この問題を解決するには、高齢者の方が日常生活の中で、いかに地域とのつながりをもっているかが、鍵となります。

そこで、高齢者の方が、地域で孤立しないための支援をしていく「見守り支援事業」が始まりました。地域で気になる高齢者の方を見かけたら、お気軽にいきいき支援センターまでご相談ください。地域の皆さんと一緒に、どのように支えていくか考えていきます。



認知症高齢者家族支援事業

いきいき支援センターでは、認知症の家族を介護している方に対して下記の事業を行っています。

1

家族教室

～認知症について学びます～

介護している家族の方が認知症の基礎知識や接し方について医師や介護経験者等から学ぶ教室です。(2時間程度)

2

医師(物忘れ相談医)による専門相談

～早期発見・早期治療が大切です～

物忘れ相談医が認知症の症状や対応方法など、ご不安なことの相談に応じ、不安の解消や早期発見、早期治療に向けたアドバイスをを行います。(1回1組30分程度、3組まで)

3

家族サロン(憩いの場)

ひとりじゃない
～みんなで話しませんか～

認知症の方を介護している家族の方、介護の体験談や日ごろの思いなどを話し合い、リフレッシュしましょう♪

※すべて事前にお申込みください。

※①③は途中からの参加もOKです。

※日程については、「Welなかがわ vol.51」もしくは、毎月の「広報なごや」にてご確認ください。

★訂正のお知らせ・・・「Welなかがわ vol.51」にてお知らせした西部の家族教室の日程が下記のとおり一部変更となりました。(時間の変更はありません) 訂正前6/14(金)⇒訂正後6/21(金)



問合せ・申込み・会場 ※お住まいの学区により、担当するいきいき支援センターが決まっています。

●東部いきいき支援センター 電話 354-8343

・・・広見、露橋、八熊、八幡、愛知、常磐、篠原、昭和橋、玉川、中島、西中島学区にお住まいの方

●西部いきいき支援センター 電話 352-8258(本センター) 電話 364-7273(分室)

・・・野田、荒子、正色、五反田、戸田、春田、豊治、長須賀、西前田、万場、千音寺、赤星、明正学区にお住まいの方

いきいき支援センターは、「高齢者福祉なんでも相談所」として区内2か所に設置されています。

平成25年度 賛助会員募集

中川区社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをすすめるために賛助会員を募集しています。皆さまからご協力いただいた賛助会費は地域の様々な福祉活動に活用させていただきます。

年会費

個人会員 1口 1,000円
法人・団体会員 1口 5,000円

24年度実績

賛助会費収入額 12,354,258円

内訳 個人会員 8,083件 10,302,258円
法人会員 446件 2,052,000円

本年度もご協力よろしくお願いたします。

※賛助会費は強制ではありません。本会趣旨にご賛同いただける皆さまのご協力で成り立っています。

家具転倒防止耐震留具取付サービス



大地震に備えて、家具の転倒を防止しましょう!

大規模な地震により家具が転倒すると、その下敷きになってケガをしたり、逃げ道をふさがれて、避難ができなくなってしまう。大地震が起きた際の家具の転倒を防止するために、家具を柱や壁に金具などで固定する事業を実施しています。

中川区に在住の下記の世帯かつ前年の所得が一人あたり200万円以下の方

- 対象
- ①65歳以上のひとり暮らし世帯
 - ②65歳以上の方のみの世帯
 - ③65歳以上の方と障がい者の方のみの世帯
 - ④65歳以上の方と18歳未満の方のみの世帯
 - ⑤障がい者の方のみの世帯

※対象とならない方でも、(公社)名古屋市シルバー人材センター南部支部で取付をしています(有料)。問い合わせ先の電話番号**671-3161**(見積無料)

取り付け箇所 利用申込者の寝室などにある、災害時危険だと思われる家具で、半日程度の作業で取り付け可能なもの。

費用 **工事代は無料。**(金具などの材料費は申込者負担)

申込方法 本会の窓口または電話でお申し込みください。
(ただし、土・日・祝日を除く午前9時~午後5時)

注意事項



- ・実際の取付作業は、(公社)名古屋市シルバー人材センターの会員が行います。
- ・作業の内容によっては、お引き受けできない場合がございます。
- ・壁などに穴を開けますので、賃貸住宅の場合、あらかじめ家主の了承を得てください。
- ・家具が絶対に倒れないという保証はいたしかねます。
- ・その他注意事項がございますので、詳細は本会までお問い合わせください。

*この事業は、皆さまにご協力いただいた賛助会費を財源としています。

赤い羽根共同募金 水ヨーヨー風船 貸出中!

※ゴム・パッチン付ビニールプールもお貸しします!

地域のお祭りやイベントなどにご活用ください!

- 対象 中川区内の地域福祉推進協議会・区内で活動している団体
期間 2週間以内
貸出料 水ヨーヨー風船 1組につき20円
※募金箱を設置していただく場合は無料

問合せ・申込 中川区共同募金委員会(中川区社協内)



寄付のお礼

寄付金は中川区の福祉の推進に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

●名古屋ヤクルト販売株式会社様

お祝いごとや香典返しにかえての寄付を受け付けております。香典返しについては、あいさつ状をご用意いたします。



編集・発行

社会福祉法人 名古屋市中川区社会福祉協議会

〒454-0875 名古屋市中川区小城町1丁目1-20
(中川区在宅サービスセンター内)

TEL(052)352-8257 FAX(052)352-3825

メールアドレス nakagawaVC@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ

<http://www.nakagawashakyo.jp>

区内のイベントやボランティア情報案内、研修室の貸出などを行っています。お気軽にお問合せください!



=この広報誌は、共同募金配分金と賛助会費を財源に作成しました=